



「狐原山草刈り&景観整備」 実施：7月27日(日)

～ 桜咲き誇り、みんなが集える狐原山を目指そう～

7月例会

参加：51名 < 会員36名・湯来ふるさとプロジェクト11名・学生他4名 >

今回の例会の活動場である狐原山（きつねばらやま）は、2005年、湯来町と広島市の合併を記念して市民の手で桜が植樹されました。春には桜が咲き誇り、お花見イベントも開催されています。

もりメイト倶楽部では、例会として、毎年草の伸びる真夏、地元の「湯来ふるさとプロジェクト」と共に市民の憩いの場を目指して、たくさんの人が集えるよう、整備を続けています。

今年も、植樹された狐原山の桜を活かすための遊歩道及び景観整備として、草刈りと桜にとって光を遮る不要木などの除伐を実施しました。

入口から山頂までのエリアを6作業グループに分けて、刈り払い機や長柄鎌による草刈り、チェーンソーや鋸による除伐作業を実施。刈り払い機作業については、新人を対象とした刈り払い機講習会も、併せて行いました。

熱中症防止のために、開始時間を通常より早い8:30とし、こまめに休憩をとり水分及び塩分補給をしながら作業を進め、午前中だけの作業としてい

ましたが、近年の猛暑は、人だけでなく機械にも過酷なようで、チェーンソーのエンジンがかからないというトラブルに見舞われ、除伐もほとんど手鋸での作業となりました。そのような状況もあり作業は思うようには進みませんでした。最終的には遊歩道や丘はきれいに整備され、桜の周りの風通しも改善され、概ね目的は達成されました。

作業終了後には、「湯来ふるさとプロジェクト」の皆さんが準備してくださった冷たい七夕汁とノンアルコールのスパークリングワインを片手に、ホッとひと息つきながら美味しく頂きました。

今回の参加者は、もりメイト倶楽部会員、湯来ふるさとプロジェクトの皆さん、湯来体育館職員、そして広島工業大学の学生3名の方もボランティア活動で参加して頂きました。学生の皆さんは普段、デスクでマウスしか触ってないので貴重な体験になったとの感想でした。

皆さま、暑い中の作業お疲れ様でした

【記：3班 川原 忠】



山頂からの見晴らし。遠くまですっきり。



入り口看板付近

Before



After



学生も初体験の草刈りに励みました



Before



After

